

政策 4

住み続けられるまちづくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今後10年間の政策の方向性

人口減少と高齢化が同時に進行する局面でも、誰もが生活に必要なサービスを持続的に享受できるよう、効率的で快適なまちづくりの促進に向け広域的な観点から市町村のまちづくりを支援します。

目指す将来像と現状のギャップと課題

- 1 市街地の拡散と低密度化による行政コストの増大とコミュニティの希薄化
- 2 空き家・空き地の増加などによる生活環境の悪化と地域の魅力の低下



取組施策

施策 1 適正な土地利用によるまちのまとまりの維持

【予算額】35,459千円

施策 2 良好なまち並みと快適な住まいづくり

【予算額】516,851千円

施策 1

適正な土地利用によるまちのまとまりの維持

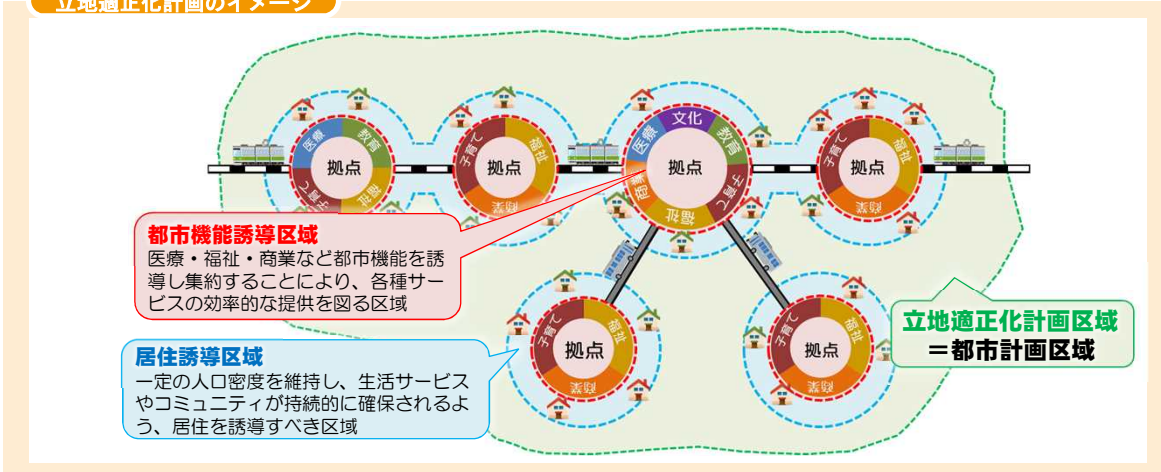
取組 1 居住と都市機能集積の促進

(1) 立地適正化計画による「都市機能誘導区域・居住誘導区域」の指定促進

市街地の拡散や人口密度の低下による、都市機能の衰退や地域コミュニティの希薄化を防ぐため、駅周辺や市役所等の地域の拠点に公共施設や商業施設、医療機関などの都市機能の核となる施設を集積・誘導するとともに、周辺に居住機能を誘導することで、「まちのまとまり」の維持に努めます。

都市機能と住宅等の集積・誘導の促進に向けては、市町村の立地適正化計画策定を支援することで「都市機能誘導区域・居住誘導区域」の指定を促進するとともに、一体的な生活圏を有する市町村を越えた範囲における「まちのまとまり」の維持を図るため、県は広域的な観点から市町村間のまちづくりに関する各種調整を行います。

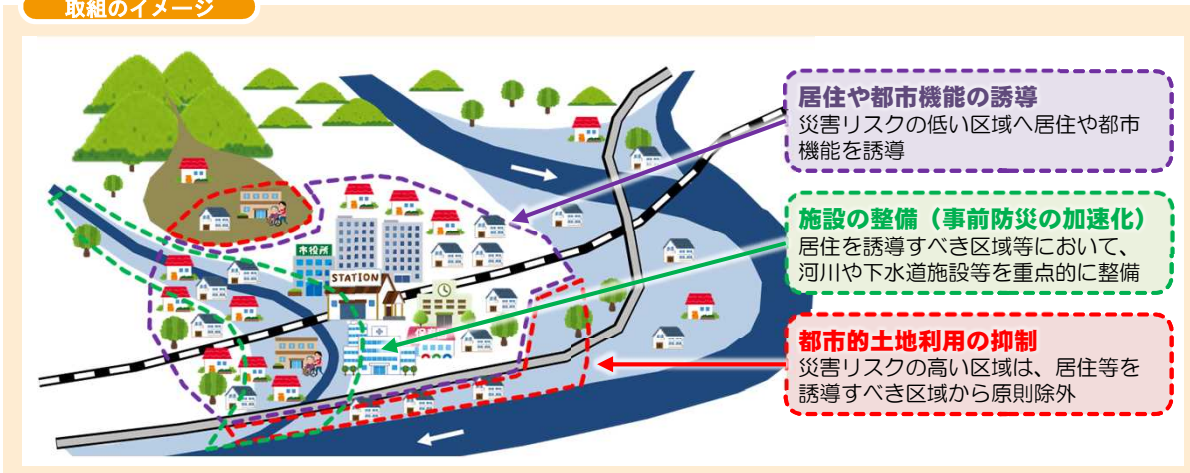
立地適正化計画のイメージ



(2) 頻発化・激甚化する気象災害に対応する安全な「まちのまとまり」づくり

頻発化・激甚化する気象災害のリスクを軽減し、効率的・効果的な防災・減災対策を推進するため、水害や土砂災害等のリスクが高い地域への住居、店舗、病院、社会福祉施設等の立地を抑制するなど、防災・減災対策と連携した安全なまちのまとまりづくりに取り組みます。

取組のイメージ



(3) 公共施設・空間の新たな活用による「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の創出

にぎわいと活力のある、エリア価値の高い、持続可能なまちづくりを目指し、官民が連携して、公共空間の新たな活用方法の検討や、沿道との一体的な活用を前提とした街路整備などにより、居心地が良く歩きたくなるまちなかの創出を促進します。

公共施設・空間の新たな活用の事例



市街地の市道の活用事例(福岡市)

利用手続きガイド(R3.3策定)

公共施設・空間を活かして
あなたのまちを盛り上げませんか？
～道路・公園・河川(河原)
・公共施設の利用手続きガイド～



利用手続きガイドの表紙

公共施設・空間の新たな活用の事例



市街地の県道の活用事例(桐生市)

令和6年度

主要事業の概要

取組1 居住と都市機能集積の促進

(1) 立地適正化計画による「都市機能誘導区域・居住誘導区域」の指定促進

【市町村の立地適正化計画策定支援】

「まちのまとまり」を維持するため、策定委員会への職員の派遣や技術的な助言等により、市町村の立地適正化計画の策定を支援します。

令和6年度の事業効果

立地適正化計画策定：みどり市
立地適正化計画策定進捗：沼田市、安中市、大泉町

(2) 頻発化・激甚化する気象災害に対応する安全な「まちのまとまり」づくり

効率的・効果的な防災・減災対策を推進するため、県が作成した防災指針の策定に関するガイドラインに基づき、県庁内の関係課が連携して技術的な助言等を行い、市町村の防災指針策定を支援します。

令和6年度の事業効果

防災指針策定：高崎市、伊勢崎市、太田市、みどり市
防災指針策定着手：館林市
防災指針策定進捗：沼田市、安中市、大泉町

施策2

良好なまち並みと快適な住まいづくり

取組1 地域の誇れる景観づくり

(1) 景観まちづくりの支援

県民の郷土に対する誇りをはぐくむとともに、本県の風土に根ざした魅力を広く発信するため、市町村の「景観まちづくり」の取組を支援します。

(2) 地域の特性に応じた屋外広告物の規制誘導

観光ルート等における良好な景観形成を図り、ぐんまの魅力とブランド力を高めるため、県内の主要観光ルートや高速道路等のIC周辺道路の沿線地域等において、地域の特性に応じた屋外広告物の規制誘導を推進します。

(3) 地域の風景や景観に配慮した公共空間の創出

地域の魅力を高めるため、「道路を走りながら、山々や街並みなどの周囲の風景」を魅せるとともに「人々が歩きたくなる道路空間」や「触れたいくなる河川空間」を創出します。

景観行政団体への移行支援

地域の特性・風土を活かした景観づくりを促進するため、市町村が「景観計画」を策定し、きめ細かな規制誘導方針を展開できるよう、市町村の景観行政団体への移行を支援します。



景観行政団体の取り組み事例
「草津温泉湯畑」(草津町)

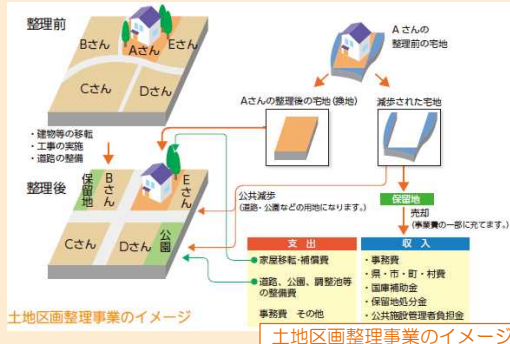
取組2 安全で快適な居住環境づくり

(1) 快適な生活空間の整備

市街地の秩序ある整備を図り、快適な居住環境を形成するため、土地区画整理事業等を推進します。

土地区画整理事業

都市計画区域の土地について、道路・公園等の公共施設を整備し、健全な市街地の形成と快適な居住環境の整備を推進します。



(3) 災害に強い安全な住まいづくり

災害時でも安全な居住空間を確保するため、住宅・建築物の耐震化や減災化を促進します。

(2) 空き家対策の総合的な推進

放置することで、地域の治安や魅力の低下、生活環境の悪化、景観の阻害等が懸念される空き家を抑制するため、空き家の除去とともに、県内外からの移住者の新たな生活や活動の拠点としての空き家の利活用促進を図ります。

空き家対策

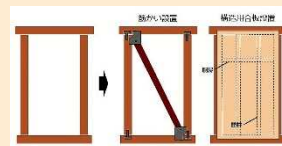


出典：国土交通省

木造住宅耐震化

市町村と協調して、耐震改修費用の一部を補助することにより、木造住宅の耐震化を促進します。

木造住宅耐震化の例



取組1 地域の誇れる景観づくり

(1) 景観まちづくりの支援

地域の特性・風土を活かした景観づくりを促進するため、景観行政団体への移行を予定している市町村を支援します。

(2) 地域の特性に応じた屋外広告物の規制誘導

渡良瀬幹線道路沿道にふさわしい景観形成を図るため、県及び沿道3市が連携して、屋外広告物の規制誘導を検討します。

(3) 地域の風景や景観に配慮した公共空間の創出

地域の魅力を高めるため、県道桐生田沼線 本町通り（桐生市）などで景観に配慮した公共空間を創出します。

令和6年度の事業効果

県道桐生田沼線 本町通り（桐生市） 電線共同溝 完了

取組2 安全で快適な居住環境づくり

(1) 快適な生活空間の整備

県民に憩いとレクリエーションの場を提供するため県立都市公園の整備と適正な運営管理を行います。

- ・敷島公園
- ・観音山ファミリーパーク
- ・群馬の森
- ・多々良沼公園
- ・金山総合公園

(2) 空き家対策の総合的な推進

【空き家対策の推進】

市町村、不動産や法律の専門家団体からなる「群馬県空き家利活用推進協議会」を活用し、空き家対策の情報共有のほか、市町村への情報提供・助言等の支援を行います。

また、「空き家対策セミナー」を開催し、専門家による講演を行うなど、空き家対策の普及・啓発を図ります。

【古民家再生・活用推進】

県内各地域で古民家の再生・活用を推進する官民共創チーム（コミンカコナイカ）を組織し、古民家の活用を実践するために、物件の掘り起こしやマッチング等を行う「地域アドバイザー」を選任します。

また、県内の活用可能な古民家・古材の情報を収集したデータベースの更新、保守業務等を行います。

(3) 災害に強い安全な住まいづくり

建築士及び施工者向けに、耐震改修に関する知識や技術力を習得するための講習会を開催します。

また、住宅や耐震診断義務付け対象建築物の耐震改修等に要する費用について、市町村と協調して補助を行います。

上信自動車道



屋外広告物の規制誘導事例
(上信自動車道景観誘導地域)

都市計画道路 本町線(新桐生駅前)



景観に配慮した道路整備の事例

観音山ファミリーパーク



噴水広場

古民家再生事例



内部改修後

建築士・施工者向け講習会



開催状況